

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	20
	令和	4年11月24日
	午前・午後	3時 0分

議会名	令和 4年 第 6回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	4番	小森 隆一
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 交通安全最優先の街に (1) 通学路安全対策について	<p>①「令和3年度事務報告書」中の令和3年度合同点検等実施結果の交通安全の種別において、合同点検実施箇所数67箇所に対して、(対策実施中の箇所も含んで)対策実施箇所数51箇所での改善率は76.1%の結果でありました。令和4年度の現在の進捗状況をお伺いします。</p> <p>②令和2年度は合同点検実施箇所数45箇所に対して、対策実施箇所数22箇所での改善率は48.9%の結果でありました。令和2年度より向上はしておりますが、改善率が低い理由をお伺いします。</p> <p>③合同点検実施箇所において、主な危険箇所はどのような場所でしょうかお伺いします。</p> <p>④対策未実施箇所の今後の対策実施計画と改善率の目標をお伺いします。</p>		
(2) 自転車の安全利用について	<p>①令和3年の中・高校生の自転車事故は、全国において令和2年と比べて増加しておりますが、本市の状況についてお伺いします。</p> <p>②通学時の自転車事故のうち、全国では中学生が加害者だった割合は19.6%、高校生は19.1%で、栃木県は中学生については55.9%で第1位、高校生については45.1%で第2位の状況でした。本市の状況についてお伺いします。</p>		

<p>(3) 交通安全教育について</p> <p>2. 孤独・孤立対策について</p> <p>(1) 現状について</p> <p>(2) 支援について</p> <p>(3) 今後の対応について</p>	<p>③中・高校生の自転車事故の要因およびハード面とソフト面での今後の対策についてお伺いします。</p> <p>①中・高校生への効果的な交通安全教育についてお伺いします。</p> <p>昨今の社会的な「つながり」の希薄化に加え、コロナ感染拡大がそれに追い打ちをかけた事を要因の一端に、社会的孤独・孤立として、小・中学校における不登校、ひきこもり、貧困、自殺、DV 相談、児童相談所での児童虐待相談等、さまざまな問題が増加しております。特に小・中学校における不登校と自殺は最悪水準となっており、昨年令和3年は不登校について過去最多、自殺については一昨年に次いで過去2番目に多い状況でした。そこで、本市では孤独・孤立対策をどのように取り組んでいるのか、お伺いします。</p> <p>①小・中学校において対象者をどのように把握するのか、お伺いします。</p> <p>②小・中学校における過去3年間の不登校児童生徒数及び割合をお伺いします。</p> <p>①不登校の児童・生徒に対して大事な事は、授業の充実や楽しい学校生活を送れる等、支援してあげる事だと考えますが、見解をお伺いします。</p> <p>②具体的にどのように支援しているのか、現状をお伺いします。</p> <p>③現状での課題についてお伺いします。</p> <p>①孤独・孤立対策は、孤独・孤立対策重点計画の中の「人と人との『つながり』」を基本として、一人ひとりが抱える複合的な課題に対応するため、属性や世代を問わず、当事者を中心とした、断らない相談支援、参加支援、地域づくり支援を、市が地域の方々や民間団体と一体となって包括的に行う事が大切であると言われております。その意味で、居場所づくりの一環として行われている事業の「子ども食堂」について、見解をお伺いします。</p>
--	---

<p>3. 高齢者が「おでかけ」しやすい街に</p> <p>(1) 地域公共交通について</p> <p>(2) 地域内交通（デマンド交通）について</p> <p>(3) 支援事業について</p>	<p>②インターネット等を利用した顔の見える相談支援や学校・自治体全体で子どもを見守るアプリについて見解をお伺いします。</p> <p>①本市の地域公共交通についての構想をお伺いします。</p> <p>①デマンド交通の利用状況についてお伺いします。 ②デマンド交通利用者の方からの要望や課題についてお伺いします。 ③デマンド交通の今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>①高齢者運賃助成事業についてお伺いします。</p>
---	--